

# 中央大学学員会報 49年白門会会報

## 第18号

発行日 平成21年6月6日  
発行人 山崎 厚太  
発行所 中央大学学員会49年白門会  
印刷所 (有)東光美術印刷

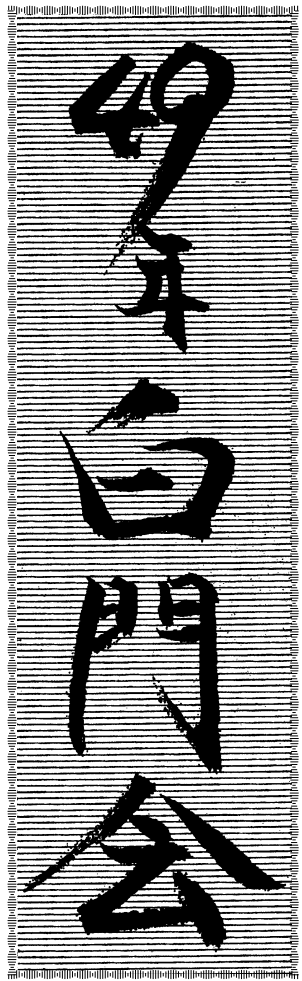
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学員会事務局

49年白門会のホームページ ➡ <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

※メールアドレスの登録・変更は

[hakumon@gray.plala.or.jp](mailto:hakumon@gray.plala.or.jp)

にご連絡ください。



(題字・葛西 聖司)

### 49年白門会創設10周年・ 卒業35周年を迎えて

49年白門会会長 山崎 厚太



卒業から35年経ちました。35年といえはこれまでの人生の半分以上です。皆さんそれぞれを無我夢中で駆け抜けてこられたのではないのでしょうか。私はその間何があったか思い出そうとしても35年間の時間は余りに長く、あまりに色々な出来事があったて細かく思い出せません。35年間とはそれほど長い期間です。普通は卒業してから懐かしくてクラブの後輩を訪ね、ブラッと母校を訪ねたりするので

が、大学は駿河台から多摩へ移ってしまつたので、「形としての大学」はありましたが、「精神的な母校」思い出としての母校「はずでなくなりました。私は大学へ足を向けることはありませんでした。皆さんはどうだったのでしょうか。ところが10年前同期会として「49年白門会」を立ち上げることにになり、同期の仲間達が集まるとそこには「精神的な母校」思い出としての母校「中央大学がありました。卒業からどれだけ時間が経とうと、大学がどこへ行こうと、同期の仲間が集まればそこには何時でも我々が在学していた当時の中央大学がありました。今から10年前、卒業後25年目ですが、そこから私の足は母校中央大学

へ向くようになりました。同期会というの仕事とは全く離れた集まりです。それだけに忌憚きたんのない話もできます。卒業後35年経ちますと、自分自身の体や、親の介護など諸々の悩みも出てくる年代です。しかしながら、同期ですから状況が同じような人が割と周りにいます。普段、皆さんの周りに自分と同じ年代の人がどれだけいるのでしょうか。いたとしても、仕事上の付き合いの人や、近所の人に気軽に聞けるのでしょうか。ところが同期で集まっていると、どういふ訳かそのような話も頻繁に出てきます。自分の心にたまつていたことが何の気兼ねなく口から出る。それが同期ではないのでしょうか。

### 大切なあれからですよ!!

自分の自由にできる時間が多かつた学生時代、社会の一員として責任が求められることが多くなつた卒業してからの時代。皆さんこの35年を振り返っていかがだったのでしょうか。社会に出てからは気の休まることなくあつたのではないのでしょうか。私はこの10年間、仕事とは全く離れた

しかも同窓同期の集まりはいわゆる癒しとなり、自分自身のためには大変役立つことができました。卒業35年を機に今まで同期会に出席されなかつた方、是非とも参加してみたいかがでしょうか。お勤めをしている方、これから定年を迎えると思います。定年後はそれまでと違い、付き合い合う相手が大きく変わります。同期の集まりというのは、自分を支えるにもずいぶんと役立つと思います。何より同じ時代を生きた人達の集まりですから参加しやすいと思います。

今後5年後の40周年、15年後の50周年、更には35年後の卒業70周年記念も皆さん90歳以上ですが是非とも一緒に祝いたいと思います。それには皆さんのお力が今後益々必要になってきます。是非ともこれを機に「49年白門会」の活動にご参加ください。7月4日はイベントとして同期の葛西アナと浅香光代さんの辛口トークショーを企画しました。ご本人様に加え配偶者の方も同伴で是非ともご参加ください。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

7月4日待っています!!

CONTENTS

1 ページ  
★49年白門会創設10周年・卒業35周年を迎えて  
山崎 厚太

2 ページ  
★友へのメッセージ  
高木 一成  
★総会のお知らせ  
★事業部掲示板

3 ページ  
★ボウリング大会報告  
★寄席見物報告  
★楽苦我喜(らくがき)  
梅田 真人

4 ページ  
★新年会報告  
★08年度会費納入者  
★会費納入のお願い  
★編集後記

# 友へのメッセージ

## 熟年オヤジの中国奮戦記

### 高木 一成 (理工)

会話の毎日だった。

秘書兼通訳の25歳の才媛をやっと採用できたのは12月の最終日、これ以来は何とか仕事が進むとほっとしたことが思い出される。

色々な苦労が山のようにあったが、赴任1年後の中国投資有限公司の金回収苦労を紹介します。テレビや新聞で聞かされてはいたが、実際に体験すると、いまだに腹が立つ。

某国自動車会社に00年当時からタイヤを供給してきたが、あまりに入金が遅れることから、将来を考えて供給を中止し、残金回収を担当者

の重要業務として集中させてきた。回収がままならなくなったある時、担当から車を貰う、所謂現物回収の提案が出された。早速上海本社TOPに了解を得る努力をするも「今でも車を作っているのに何故金がないのだ」と却下されてしまった。自分



北京の冬の通勤スタイル

自身でも同じ感覚なので、思うように説得できずにいたが、このままだと0か車ですと居直り、強引に了解を取り付けた。

ここからが本当の苦労で、担当に同行し、昼はお願いで頭を下げ、夜は会食を設定し苦境を訴える。「上海本社から怒られている、少しづつでもいいから返金してください」とすると、車が数台あるのでこれでどうかと、担当の予測通りの反応が来た。「まともな30台くらいと言え」と指すするも、結局2台確保すること

で諦めざるを得なかった。そんな苦労の中で少々のお楽しみを紹介。05年8月に北京に異動し、事務所から歩いて通えるマンションに居を構えた。オリンピックに向けて、道路&ビル解体突貫工事の真っ最中の中を夫婦で散歩がてら30分かけて暑い日も寒い日も通勤した。この2年半(08年2月に帰国)北京の街中の変化、きれいに化粧される様を目の当たりにすることができたのは大変貴重な経験でした。中国生活に感謝です。

子供に恵まれなかった我々夫婦に本当の娘のように思えるまでに、公私にわたり奮闘してくれた中国娘の奮戦記はまたの機会に紹介します。

## 2009年度 総会のお知らせ

「49年白門会」の2009年度の総会が開かれます。今年には創立10周年記念総会です。同封いたしました案内状の通り、総会に引き続き浅香光代&葛西聖司トークショーもあり、懇親会は楽しい演出を企画しております。

中央大学を卒業して35年です。今回の会報は「49年白門会」の会員でない方にもお送りしております。会員でない方もぜひご出席ください。もちろん当日、入会の手続きをしていただければ、これからの人生楽しく過ごせることと思います。配偶者の方の同伴も大いに歓迎いたします。

日時・平成21年7月4日(土)  
午後1時(12時半より受け付け)  
場所・鉄鋼会館  
(東京都中央区日本橋茅場町3-1-10)

懇親会費・1万円(同伴者8千円)  
詳しくは同封の案内状をご覧ください。

## 事業部掲示板

2009年度の行事予定です。

時間や集客場所など詳細は未定です。実施が決まりましたらホームページやメールでお知らせいたします。

◎ 総会・懇親会

7月4日(土)

◎ 納涼ビアパーティー

8月1日(土)

◎ ホームカミングデー

10月25日(日)

◎ 石神井公園野鳥観察

11月28日(土)

◎ ボウリング大会

12月の土曜日予定

◎ 新年会

平成22年1月30日(土)

◎ 神田明神と湯島天神梅祭り

3月6日(土)

※事業部の活動とは別に、皆さんの企画がありましたら、ホームページ「掲示板」を使って仲間集めをしてみませんか。5月末には「ゴルフ同好会」が開かれました。

# 一球入魂でストライク!!

ボウリング大会 2008年 12月6日(土)

昨年好評だったボウリング大会を、今年も東京・新宿歌舞伎町の新宿ミラノボウルで行いました。昨年の参加者は13名でしたが、今年は7名と少々寂しい人数でしたが、新潟から松平守さん、栃木から堀井信行さんが参加されました。

午後3時過ぎから、2レーンを使って4人と3人の組で2ゲームの勝負を争いました。ボウリングは再ブームで、場内は親子連れや若者でいっぱい。あちこちで歓声と拍手が沸き起こっていました。

さて、49年会の白熱したゲーム展開は、1ゲーム目にいきなり181点というハイスコアを出した山根信正さんが、2ゲーム目も138点と

安定したスコアで堂々の優勝を飾りました。昨年2位だった岩城和裕さんは、2ゲーム目で山根さんを猛然と追いかけるもわずか8点差で、またしても2位という結果になりました。

昨年よりも、最高得点も総得点もアップしたレベルの高い大会になりました。

全身に心地よい疲れを感じながら新宿駅の近くの居酒屋で、山崎会長も加わり懇親会を開きました。運動後のビールは格別にうまく、ジョッキを次々と空にしなが、ボウリング談義に始まり仕事や学生時代のことなど話は尽きず、2時間楽しい師走の夜を過ごしました。

来年はもっと多くの人が参加して49年会の忘年会も兼ねた「忘りング大会」にしたいものです。(広報部)

# 大いに笑った春の一日!!

寄席見物 2009年 4月4日(土)

石川 晶雄(経)

天気も良く桜も満開の4月4日の土曜日、事業部企画の「寄席見物」に8名の会員が集まった。当日、会場の新宿末広亭では、中大出身の作家・林家いっ平改め林家三平の襲名披露公演が行われることになっており、夜の部の入場券はかなり前に完売、我々は昼の部を見物することになった。

寄席ブームとは聞いてはいたが、開演12時には長蛇の列。老若男女で席はいっぱい。末広亭名物の海苔巻種荷弁当とお茶を買い込み開演を待った。寄席見物は映画や歌舞伎と違い、食事をしながら、また声を出して大いに笑いながら過ごせるのが魅力の一つ。お酒はだめだが、まずは前座の囃を聞きながら弁当で腹こ

# 楽苦我喜 梅田 真人(経)

定年退職が本年9月に迫ってきた。何か「アツ」という間のサラリーマン時代でした。

在学中は同好会クラブ「パトス中央ラグビークラブ」に4年間所属していました。同好会とはいもものラグビーは激しいスポーツなので、練習や試合後はその反動で先輩・後輩や池袋に繰り出し、安い飲み屋で大酒を飲み、ラグビーを通じた男の友情と連帯感で生きがいを感じていた時代でした。

就職活動中に両親から札幌へ帰ってくるように再三促され、就職先も勝手に親族が専務をしている団体へ決められていました。北海道に帰るか東京に残るのか、卒業が近くなると迷いましたが、決め手はクラブでした。メンバーと会えなくなることもなどとも考えられず、とりあえず埼玉県の地方銀行に就職したわけです。

大学に行けば後輩たちといつでも会えるし、青春時代の一番大切な場所にもいつでも戻れることが一番、と決断し現在に至ってしまいました。側について親孝行もろくにできず、要介護になった父を姉にまかせっきりにし、4年前の父の死に目に会えず後悔したこともありました。でもあの時の決断が、今の49会、クラス会、クラブの行事等に参加し、楽しい思い出作りの礎になっていることは確かです。

健康維持のため20年前からジョギングをやっています。最初は一人で公園内を走っていたが長続きせず、地元の走友会へ入会し、現在は毎週日曜日の朝7時から江戸川の土手を約20人で10キロ走っています。

銀行では土地区画整理事業を16年担当し、定年後は後継者づくりを会社から要請されています。自分が取り組んできた「土地区画整理事業へのファイナンス」というテーマで本を世に出すのが私の夢です。まだまだ夢の途中ですので「生涯現役」で走り続けます!

当日のトリの柳家さん喬の「井戸の茶碗」をじっくりと聴き、一同大いに満足。ありがとございました。漫談、奇術と続き、さらに大神楽と称する曲芸まで織り込まれ、次から次へと飽きることなく4時間半が瞬く間に過ぎて行きました。

## 第20回中央大学ホームカミングデー

開催日 平成21年10月25日(日)  
午前9時45分(開場)～午後4時  
会場 中央大学 多摩キャンパス  
開催時間は10時～16時(予定)。演奏会、応援部演技、トークショー、模擬店、施設見学会、茶席、寄席、福引抽選会等、盛りだくさんの企画があります。49年会の旗の下には是非ともお集まりください。

歌舞伎、映画、落語などから心に残るセリフを語る。

## ことばの切っ先 心にせまるセリフ

葛西聖司(NHKアナウンサー)著 菊地ひと美 絵  
古典芸能番組に携わってきた著者が、虚構の世界で語られるセリフの魅力を解き明かす。

小学館

●定価1,890円(税込)

好評発売中!



4-09-387646-0

# 新年会

2009年  
1月31日(土)

1月の最終土曜日といえば「49年白門会」の新年会です。今年も銀座の「Sun-mi高松」に32名の会員が集まって行われました。

今年の新年会は、吹雪の盛岡からきた方、長期の中国赴任を終えてきた方、体調を回復された方など、5年ぶりに参加された懐かしい顔が揃い、楽しい会になりました。

午後3時からの会に先立ち、創設10周年を迎えるにあたり、記念事業



の予算を承認していただく臨時総会が、短時間でしたが開かれました。新年会の司会は石川事業部長が行い、山崎会長の挨拶と乾杯の発声で久しぶりに参加した人を中心に歓談の輪が広がりました。宴もたけなわの頃、新年会では恒例になった「オークション」が始まり、副会長の宮川名オークションのもの、会員が持ち寄った品物が次々と競り落とされていきました。手編みのマフラー、プロ仕様の卓球ラケット、自作のピアカップ、こしひかり、ホテル無料招待券等が競り落とされ、売上金の64700円全額を125周年募金へ49年会の名で寄付されました。

「アラカン(アラウンド還暦)世代の我々はまだまだ元気に頑張ろう」という中締め挨拶に続き、恒例の校歌と応援歌を歌い、小澤さんのエール交換で2時間の会もお開きになりました。7月の10周年記念総会での再会を約束し、夕陽迫る銀座で散会。10人の会員が、近くのライオンピアホールでの二次会に参加し、時間の許す限り親交を深めた。(広報部)

# 編集 後記

## 見た目 年齢

25年ぶりに出身地館山の、昔よく通った床屋に行き、二つ年下のマスタールAを見て愕然とした。スマートでハンサムな男だったはずが、腹の出たタコ入道に変わって私の前に現れ、足がくたびれるので、椅子に座って髪を切るという。

昨年、私の司法書士事務所へ債務整理の依頼に訪れた多重債務の「おばあさん」Bさん。総入れ歯が一

言話すたびに口から外れて飛び出してくるので、話が聞き取りづらい。歩くのも杖をついてゆっくりだ。70歳後半かな? と思い、保険証を見ると、なんとまだ59歳。この20数年間借金に追われてきたという人生が表れているのだろうか。

一方、中大で1学年下の友人Cが、数年前、25歳年下の女性と再婚した。彼は未だにサーフィンに夢中な日焼

# 08年度会費納入者

(09年3月末現在)

●法学部  
大竹力三 荻原紀行 菅納敏恭 木村真 黒石正樹 杉本和久 杉本功 関雄四郎 高木潔 友国博志 戸田祐一

●経済学部  
浅見照男 井美知子 石川晶雄 梅田真人 小澤秀敏 加納幹郎 後藤徳彌

●商学部  
小澤龍次 木戸口幸生 佐久間信夫 長地孝夫 秦英信 秋山一正 板倉英行 黒木兼一郎 背戸柳良辰 辰馬信男 利根川宣保 野口孝史 菱倉義成 松井宏夫 山田淳一郎 吉江信博 和田芳幸 江村信一

# 会費の納入についてのお願い

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

- ①郵便振替 (手数料は不要です)  
振替口座番号「00180-3-196081」  
口座名称 「49年白門会」
- ②銀行振込 (振込手数料が必要です)  
銀行名 三菱東京UFJ銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」  
口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

## 49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会幹事長 中 島 章 夫  
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局  
電話 042-674-3468 (学生課) FAX 042-674-3469

※メールアドレスの登録・変更は  
hakumon@gray.plala.or.jp にご連絡ください。

# 原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「私とお酒」というテーマで原稿を募集します。

酒での失敗談をはじめ、禁酒からお酒に入りのお酒のことまで、お酒にまつわるお話を紹介してください。

400字前後でお書きになって事務局までにお送りください。締め切りは10月末日です。広報部から直接、手紙やメールで依頼することもありますので協力お願いいたします。